

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ニューイヤーカップ	2019/1/9	SIII	浦和	1600m	ハイペース	良	能力比較、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	マムティキング	牡3	56	柏木	バトルブラン	ミスプロ系	デュランダル	サンデー系	C	C	C	B	C	C		
2	2	ヒカリオーソ	牡3	56	瀧川	フリオーソ	ロベルト系	サウスヴィグラス	ミスプロ系	A	B	A	B	A	B	◎	
3	3	アイアス	牡3	56	和田	カネヒキリ	サンデー系	アツミラーレ	ロベルト系	C	C	C	B	C	C		
4	4	トーセンボルガ	牡3	56	左海	トーセンモナーク	サンデー系	Mineshaft	ナスルーラ系	B	B	B	A	B	B	▲	
5	5	カネトシテッキン	牡3	56	増田	スマートボーイ	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	C	C	C	B	C	B	△1	
6	7	トーセングーネット	牝3	54	五十嵐	アグネスデジタル	ミスプロ系	クロフネ	ノーザン系	A	B	B	A	A	B	○	
	8	レベルフォー	牡3	56	石崎駿	リーチザクラウン	サンデー系	フレンチデビュティ	ノーザン系	C	C	A	C	C	C		
7	9	マイコート	牡3	56	今野	ロジユニヴァース	サンデー系	アラムシャー	ノーザン系	B	C	C	C	C	C		
	10	アギト	牡3	56	森	トゥザグローリー	ミスプロ系	ブライアンスタイル	ロベルト系	C	A	B	C	B	B	△2	
8	11	レオズソーダライト	牝3	54	山崎	アドマイヤムーン	ミスプロ系	サンダーガルチ	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		
	12	スズブルースカイ	牡3	56	服部	ダンノンバラード	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
ヒカリ トーボ カネト レベル トーガ マイコ アイア アギト マムテ レオズ スズブ ハイペース	<p>ニューイヤーカップの舞台は地方競馬で最もトリッキーな浦和1600m。スタートが3~4コーナー部分に設置されているため、内枠有利として知られているコース。過去の同レースを振り返っても、内枠有利の傾向が出ている。1、2枠に入った馬が5年連続で3着以内に好走中。外枠でも馬券に絡むことはあるが、外枠より内枠の方がいいのは間違いないだろう。今年も外枠より内枠の意識を持ち、年明けの3歳戦なので能力比較もしつつ、最終判断をしていきたい。ここは印上位3頭で決まる可能性が50%くらいあると見ている。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はベタだが、内枠の逃げ馬ヒカリオーソでいいだろう。前走全日本2歳優駿は鞍上の瀧川騎手が同期の阿部騎手が騎乗するイグナシオドーロに遠慮していたとしか思えない消極的な騎乗。ペースがそれほど速くない中、後方まで位置を落とし、4コーナーからは大外ぶん回し。それでも7着まで追い上げ、鞍上がレース後に「スムーズなら掲示板はあった」というのも頷ける内容だった。ヒカリオーソ×サウスヴィグラスの底力あふれる血統。ここに来て馬が良くなっている。(以下省略)</p>	ラップタイム 回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	マムティキング		近2走は好内容のレースを続けているが、追われてジリジリと伸びるスタミナ型の差し馬のイメージ。スピードが要求される浦和1600mは合わないのでは。		
2	2	ヒカリオーソ	◎	前走全日本2歳優駿はベースが速くない中、後方まで位置を落とし、4コーナーからは大外ぶん回し。それでも7着まで追い上げ、鞍上がレース後に「スムーズなら掲示板はあった」というのも頷ける内容だった。ヒカリオーソ×サウスヴィグラスの底力あふれる血統。ここに来て馬が良くなっている。先手必勝。		
3	3	アイアス		南関東に転入後、3→1→2着と結果を残しているが、3戦ともメンバーレベルは決して高くない。重賞で壁にぶつかるとは。		
4	4	トーセンボルガ	▲	前走ハイセイコー記念では1番人気4着と期待を裏切ったが、早め早めに動いた本馬には厳しい展開だった。鞍上のレース後のコメントによると、初の右回りも多少影響したらしい。前々で立ち回りを生かしたい本馬にとって大井1600mより小回りの浦和1600mの方がいいはず。		
5	5	カネトシテッキン	△1	準重賞の若武者賞ではトーセンボルガを下して勝利を収めている馬。ハイレベルだった鎌倉記念でも6着に健闘しており、人気ほど舐められた馬ではない。平和賞と全日本2歳優駿では惨敗しているが、どうも走ることに前向きではないので、前に馬が複数いると自分から走るのをやめてしまう面がありそうだ。		
6	7	トーセンガーネット	○	前走兵庫ジュニアグランプリではJRA勢の強豪相手に4着と健闘。5着に敗れたリンソウチャネルは鎌倉記念で2着に入り、4着ヒカリオーソに完勝。リンソウチャネルを基準に考えれば、現在はトーセンガーネット>ヒカリオーソといえるかもしれない。平和賞と着順が入れ替わる可能性はある。		
	8	レベルフォー		浦和で2戦2勝と抜群のコース適性を見せているが、今回は同型に強力なヒカリオーソ。枠順を考えると逃げの手を打つのは難しそう、自分の競馬が出来ず、あっさりと敗れるのでは。実力とコース適性的にノーチャンスとは言えないが、人気ほど好走確率は高くないと判断して軽視したい。		
7	9	マイコート		サンライズカップでウィンターフェルを負かしており、このメンバーに入っても能力的にヒケを取らないが、典型的な中長距離型。小回りの浦和1600mではスピードに乗り切らずに終わるのでは。		
	10	アギト	△2	前走川崎若駒オープンは決して差し馬に有利な流れではなかったが、大外から鮮やかな差し切り勝ち。引き続き森騎手が騎乗できるのは心強く、前がガリガリとやりあえば、本馬の末脚が生きてくるかもしれない。		
8	11	レオズソーダライト		アギト、トーセンボルガに完敗している馬。相手関係と枠順を考えると出番はないだろう。		
	12	スズブルースカイ		デビュー以来、いまだに未勝利の馬。特別戦でも掲示板に入るのが精いっぱい、重賞では荷が重い。		